

《担当者名》教授 / 斎藤 隆史t-saito@ 教授 / 舞田 健夫tmaida@ 教授 / 越野 寿koshino@
 教授 / 長澤 敏行nagasawa@ 教授 / 飯嶋 雅弘ijima@ 講師 / 礒部 太一tisobe@
 講師 / 川西 克弥kawanisi@ 講師 / 村田 幸枝y-murata@ 講師 / 加藤 幸紀satsuki@
 講師 / 泉川 昌宣s-izumi@ 助教 / 仲西 和代kdontics@ 助教 / 佐々木 智也t-sasaki@
 助教 / 菅 悠希kanyuuki@ 助教 / 尾立 光hikarikun@ 助教 / 藤田 尚正fujita@
 助教 / 土田 大tsuchida_d@ 助教 / 榊原 さや夏sayanatu@

【概要】

歯学・歯科医療においては、高度な倫理観・人間性を身につけるだけでなく、患者さんとの信頼関係の構築ができるような十分なコミュニケーション能力の涵養を図る必要がある。『医療人間学演習』では、福祉施設、歯科クリニック、大学病院、AEDなどの研修という経験を通じ、それらの能力の育成を目的とする。

【学修目標】

歯学に対する学習意欲を高める。
 自ら積極的に行動する態度を身につける。
 患者さんと歯科医師との信頼関係の重要性を認識する。
 高齢者および障がい者診療について学ぶ。
 コミュニケーション能力を身につける。
 幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな質の高い医療人を育成する。
 実際の医療現場などの研修を通じ、医療現場での実際の雰囲気を理解する。
 フィールドワークの観点から、医療現場を観察する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	総合ガイダンス 福祉施設研修に向けて	<ul style="list-style-type: none"> 『医療人間学演習』の必要性と具体的な実施方法について説明、班分けをする。 福祉施設研修に向けての心構え 	越野 寿 長澤 敏行 川西 克弥 村田 幸枝 礒部 太一
2	福祉施設研修	6班に分け担当者が引率する。 A班～ホワイトキャッスル B班～新川エバーライフ C班～らくら当別 D班～新篠津福祉園 E班～愛輪園 F班～当別長寿園	越野 寿 長澤 敏行 川西 克弥 村田 幸枝 礒部 太一 加藤 幸紀 仲西 和代 泉川 昌宣 佐々木 智也 菅 悠希 藤田 尚正 土田 大 榊原 さや夏
3	福祉施設研修	6班に分け担当者が引率する。 A班～ホワイトキャッスル B班～新川エバーライフ C班～らくら当別 D班～新篠津福祉園 E班～愛輪園 F班～当別長寿園	越野 寿 長澤 敏行 川西 克弥 村田 幸枝 礒部 太一 加藤 幸紀 仲西 和代 泉川 昌宣 佐々木 智也 菅 悠希 藤田 尚正 土田 大

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
			榊原 さや夏
4	本学歯科クリニック研修に向けて	・ 歯科クリニック院長から「研修」の意義について	斎藤 隆史 飯嶋 雅弘
5	本学歯科クリニック研修(1)	患者さんと施療者の言動を研修する。 クリニックスタッフの教示をノートにすべて記録する。	川西 克弥 村田 幸枝 礒部 太一 加藤 幸紀 仲西 和代 泉川 昌宣 佐々木 智也 菅 悠希 藤田 尚正 土田 大 榊原 さや夏
6	本学歯科クリニック研修(2)	患者さんと施療者の言動を研修する。 クリニックスタッフの教示をノートにすべて記録する。	川西 克弥 村田 幸枝 礒部 太一 加藤 幸紀 仲西 和代 泉川 昌宣 佐々木 智也 菅 悠希 藤田 尚正 土田 大 榊原 さや夏
7	本学歯科クリニック研修(3)	患者さんと施療者の言動を研修する。 クリニックスタッフの教示をノートにすべて記録する。	川西 克弥 村田 幸枝 礒部 太一 加藤 幸紀 仲西 和代 泉川 昌宣 佐々木 智也 菅 悠希 藤田 尚正 土田 大 榊原 さや夏
8	本学歯科クリニック研修(4)	患者さんと施療者の言動を研修する。 クリニックスタッフの教示をノートにすべて記録する。	川西 克弥 村田 幸枝 礒部 太一 加藤 幸紀 仲西 和代 泉川 昌宣 佐々木 智也 菅 悠希 藤田 尚正 土田 大 榊原 さや夏
9	本学歯科クリニック研修(5)	患者さんと施療者の言動を研修する。 クリニックスタッフの教示をノートにすべて記録する。	川西 克弥 村田 幸枝 礒部 太一 加藤 幸紀

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
			仲西 和代 泉川 昌宣 佐々木 智也 菅 悠希 藤田 尚正 土田 大 榊原 さや夏
10	本学歯科クリニック研修(6)	患者さんと施療者の言動を研修する。 クリニックスタッフの教示をノートにすべて記録する。	川西 克弥 村田 幸枝 礒部 太一 加藤 幸紀 仲西 和代 泉川 昌宣 佐々木 智也 菅 悠希 藤田 尚正 土田 大 榊原 さや夏
11	大学病院研修	「北海道医療大学病院」(札幌市北区あいの里) 研修・歯科・内科・看護部・薬剤部ほか	舞田 健夫 川西 克弥 村田 幸枝 礒部 太一 尾立 光 大学病院スタッフ
12	大学病院研修	・ 現場スタッフから直接指導を受ける。 ・ 大学病院の設備を見学し、医師、歯科医師、スタッフなどの患者さんへの対応を観察して、患者にとって快適な病院環境を学ぶ。	舞田 健夫 川西 克弥 村田 幸枝 礒部 太一 尾立 光 大学病院スタッフ
13	AED講習会	一般救急講習について学ぶ。	特別講師 川西 克弥 村田 幸枝 礒部 太一
14	AED講習会	一般救急講習について学ぶ。	特別講師 川西 克弥 村田 幸枝 礒部 太一
15	まとめ	これまでの研修を踏まえて様々な観点から議論した上で、医療と社会の関係について俯瞰的に考察する。	川西 克弥 村田 幸枝 礒部 太一

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

授業や研修への取組姿勢・態度(60%)、期末レポート(40%)

【教科書】

『医療人間学演習～早期体験・態度学習ノート』江口 正尊 編 北海道医療大学歯学部

【備考】

実地研修については、新型コロナウイルスの状況によっては、座学に変更の可能性はある。

【学修の準備】

授業の前後において、教科書の該当箇所を一読する(80分)。

授業内で出た課題について、次回の授業の際までに行っておく（40分）。
 研修の内容について気づいた点などをノートにとり、その内容を整理してまとめておく（40分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP2. 「患者中心の医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を医療人間学の観点から身につける（プロフェッショナリズムとコミュニケーション能力）。
 DP3. 疾患の予防、診断および治療の新たなニーズに対応できるよう生涯にわたって自己研鑽し、継続して自己の専門領域を発展させる能力を医療人間学の観点から身につける（自己研鑽力）。

【実務経験】

斎藤隆史（歯科医師）、舞田健夫（歯科医師）、越野寿（歯科医師）、長澤敏行（歯科医師）、飯嶋雅弘（歯科医師）、川西克弥（歯科医師）、村田幸枝（歯科医師）、加藤幸紀（歯科医師）、菅悠希（歯科医師）、仲西和代（歯科医師）、泉川昌宣（歯科医師）、佐々木智也（歯科医師）、尾立光（歯科医師）、藤田尚正（歯科医師）、土田 大（歯科医師）、榊原 さや夏（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

歯科医師としての実務経験を活かして、各種施設における演習を通じて修得すべき知識、技術、態度を身につける教育を実践している。

【研修スケジュール】

・ 本学歯科クリニック研修スケジュール

		ローテーション						
研修場所	時間	月	月	月	月	月	月	月
		日	日	日	日	日	日	日
歯科衛生部 (3F)	10:35~11:10							
保存 I・II (3F)	11:15~11:50		A	B	C	D	E	F
補綴 I・II (4F, 3F)	10:35~11:25							
歯科技工部 (2F)	11:30~11:50		B	C	D	E	F	A
小児歯科 (2F)	10:35~11:10							
矯正歯科 (2F)	11:15~11:50		C	D	E	F	A	B
歯科麻酔科 (3F)	10:35~11:15							
看護部 (2F)	11:20~11:50		D	E	F	A	B	C
口腔外科 I・II (6F, 3F)	10:35~11:25							
中央検査部 (1F)	11:30~11:50		E	F	A	B	C	D
歯科放射線科 (2F)	10:35~11:25							
			F	A	B	C	D	E